

全 県 版

未政川(真備)本復旧進む

備中 県民局 決壊箇所工事公開

西日本豪雨

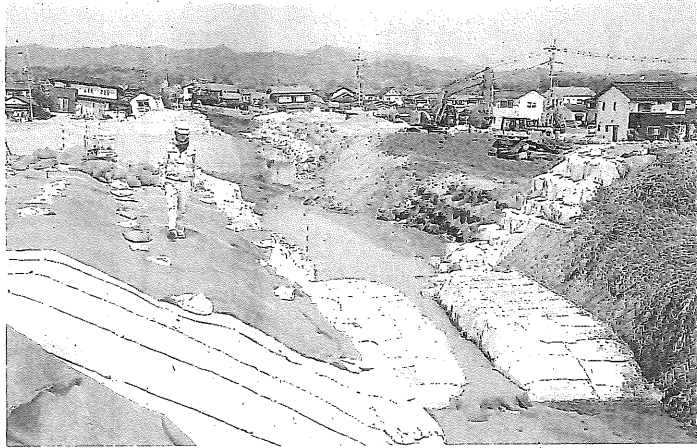
県備中県民局は27日、西日本豪雨の被害を受けた倉敷市真備町地区の未政川で、堤防決壊箇所の本復旧工事の現場を報道陣に公開した。6月中旬の出水期までに堤防内側の工事を完了させる予定。

工事箇所は、小田川との合流点から上流へ700㍎と400㍎の2地点。両岸が決壊し、川底を掘削する。計画では、まず堤防内側の工事を行い、その後、かさ上げや拡幅

した700㍎地点では、堤防保護を目的とした西岸91㍎、東岸89㍎にわたり小田川堤防の高さに合わせて約1・5㍎かさ上げし、堤防の下部を約12㍎拡幅する。川側のり面には遮水用の鋼製矢板を打ち込み、コンクリート護岸を整備。水位を下げるため川幅を広げ、

同地区で被害が出た県管理の3河川のうち、未政川周辺は家屋が密集。このため、買収用地内の家屋調査、撤去を経て、今月上旬から本復旧に入った。決壊箇所の工事では、家屋など9戸が立ち退きになったという。

県の緊急治水対策事業は、決壊箇所を優先して実施。未政川全体の工事は合流点から上流1・37㍎区間で、2023年度の完了を目指す。(重成啓子)



本復旧工事が進む未政川の堤防決壊箇所＝倉敷市真備町有井